

広報

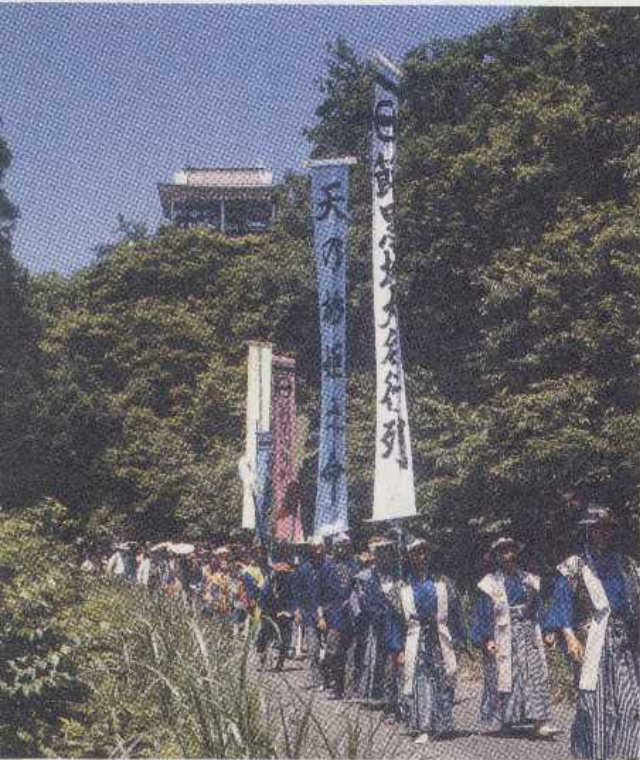
かわにし

(毎月10日発行)

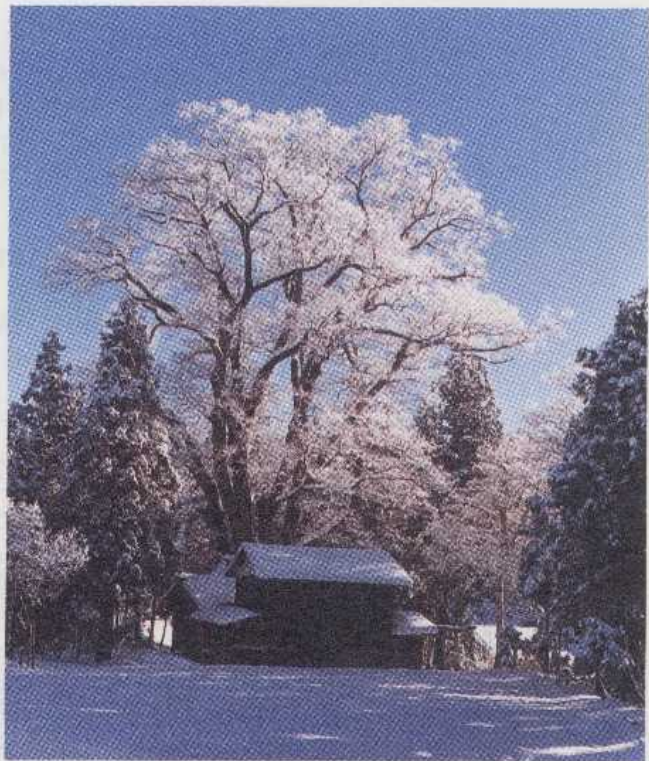
平成5年 10/10 No.422

〒948-01 新潟県中魚沼郡川西町大字水口沢12番地 (TEL 0257-68-3111)
(FAX 0257-68-3828)
発行 町長 南雲春雄 編集 総務課文書広報係 印刷 白南風社

人口の動き	
— 10月1日現在 —	
男	4,332 (-1)
女	4,406 (-2)
計	8,738 (-3)
世帯数	2,226 (+3)
() は前月比較	

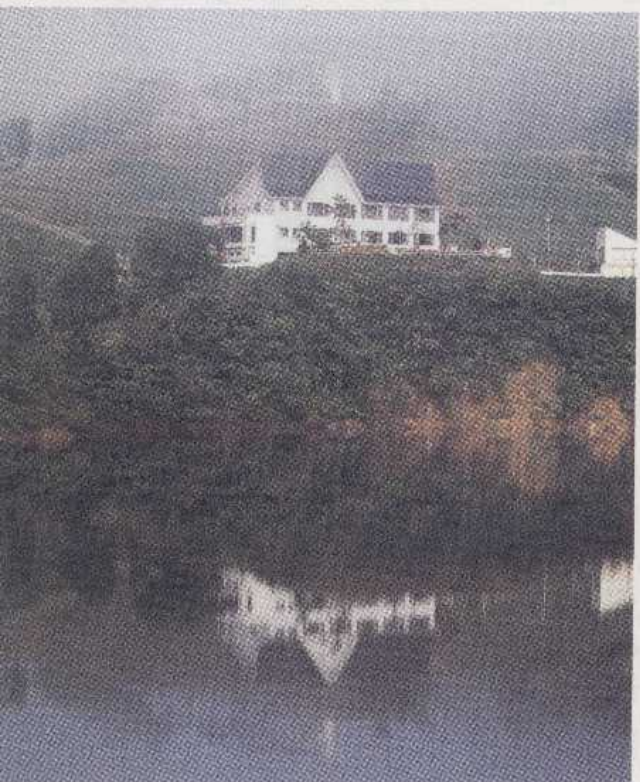


節黒城跡山開き祭 大名行列 (川西町上野)



県指定天然記念物「赤谷の大げやき」(川西町赤谷)

観光年賀はがきをご利用ください



ホワイトグレイ「松葉荘」(地域休養施設 川西町霜条)

町では、今年も観光宣伝事業の一環として、町の名所の中から4点について年賀状に刷り込みます。町内の郵便局と販売所で11月4日から購入できますので、大にご利用ください。(この写真は実寸大ではありません。はがきに刷り込む大きさは、おおむね5.5cm×4.5cmです。)



越後33ヶ所第10番札所 千手観世音 (川西町伊勢平治)

議会報告

九月二十一日から二十八日まで、八日間の会期で第七回町議会定例会が開かれました。

二十一日は、七人の議員による一般質問が実施されました。二十四日は、一般会計補正予算ほか六件の補正予算を可決。除雪機械の購入（契約の相手方〓株コバリキ・契約金額〓二千五百五万五千円）を承認。次に人権擁護委員候補者に中村謹治さん（再任・坪山・72歳）と、児玉達雄さん（学校町・63歳）を推薦することに同意し、町表彰条例に基づく特別功労者に三人の方を決定することについて同意しました。

次に、「農業農村整備費予算の拡大に関する意見書」ほか二件の意見書を可決しました。続いて、豪雪時の対策とともに

に、恒常的に降る雪対策を含めた総合的な克雪・利雪対策及び水資源対策を調査するため克雪対策特別委員会を、また、畜産公害対策にもなう総合的対策に関する研究、調査をするため環境対策特別委員会を設置することになり、委員が決まりました。（〓印・委員長、〇印・副委員長）

克雪対策特別委員会

〓羽鳥力夫 〇金子澄男
戸田哲次 柳 藤作
高橋 重 上村晴夫
吉楽正実 村越勝蔵

環境対策特別委員会

〓田口直人 〇星名富一
根津健治郎 清水 進
富井相四郎 北村公男
高橋幸一 押木 貢
二十八日は、平成四年度の一般会計と八つの特別会計及び平成四年度水道事業会計決算が認定されました。
二十一日に実施された一般質問の概要を中心にお知らせします。（質問順に掲載）

雪貯蔵により夏期雪利用を

南 雲 教 議員

降った雪を貯蔵しておき、夏のイベントや祭りなどに使って、町のイメージアップが図れないか。貯蔵場所としては、中仙田の猫又沢が適当である。

南 雲 町長

雪の利用は、それなりの活性化につながるものであるので、提言にそって取り組んで見る必要がある。地形的に北側の日のあたらない場所で、湧水、水はけなどの状況、雪集めや搬出が容易な場所を選定する必要がある。

若者の発想を生かし町おこし

高橋 重 議員

- ① 養豚悪臭に対する解決策や養豚農家への指導方針は
- ② 生産組合のオペレーター不足に対する若者参加と手立ては
- ③ 若者の発想や子供の考えに耳を傾け、散発投資でなく、思い切った投資で町おこしを考えてはどうか

南 雲 町長

① 公害の第一義的な責任は、養豚を生業としている農家にある

る。中仙田の場所を含めて早急に適地の調査を開始したい。



東京大山商店街との交流イベント(5.9)

ことは否定しがたいことである。養豚家もようやく真剣に何とかしなければならぬという気持ち

茅葺き屋根家屋の保存を図れ

金子 澄 男 議員

観光の目玉としても活用できる茅葺き屋根の家屋の保存を、今後どのように考えていくのか。また、屋根職人に対する考えは

南 雲 町長

町としても、それなりの歴史

ちが変わりつつあり、それを大きな手掛かりとしている。私も、残された任期を精力的対応して、解決のメドを作っていくたい。

② 生産組合の中核はオペレーターであり、その通年雇用を実現し、年収六〜八百万くらいのものを確保しなければ、若者の就業を開拓することは難しい。

現在、この問題は町農業農村活性化長期構想の中で最重要課題の一つとして検討されており、構想を単なる絵に書いたモチではなく、行政も農家自らも自分のこととして対心していきたい。

③ 町の人たちに夢を与え、楽しさを実感できるように町おこしならば、思い切った投資をすることも決してやぶさかではない。そうした観点に立って、若者の考え方に積極的に耳を傾け、町おこしの実現に向けて取り組んでまいる所存である。

や文化があつて、茅葺き屋根の景観を保存することが新たな観光産業などに連なり、地域振興が図られるようなものであれば、発展的にビジョンの展開もできる。しかし、現状のまま保存することについては、消極的にならない。

また、屋根職人の育成については、これからの社会の中では職業として成り立ちにくい分野で、育成することに難しさがあ

る。しかし、自発的に技術を取得たいと希望される方があれば、町の制度を活用されて対応ができるのではないかと思う。

ごみのリサイクル分別収集を

戸田 哲次 議員

町でもリサイクル分別収集に取り組み、広域市町村計画の中で話し合いを進めていただきた

い。また、霧谷埋め立て地の埋め立許容能力の将来的な問題やごみ不法投棄問題など、町の方針、取り組み、将来展望は

南 雲 町長

十日町市川西町衛生施設組合では、平成六年度から逐次モデル地域を設定するなど、リサイクルの取り組みに前向きな検討を進めている。

霧谷埋め立て地については、過去二十年間で二十五万トンの

ごみが埋め立てられ、現在の排出収集量が継続されれば、あと十五年くらいで満杯になるとい

う状況である。今後、住民一人ひとりからご協力をいただき、できるだけ埋め立て地の長持ちが図られるよう、ごみの分別の徹底や減量化、再資源化に向け取り組みを強化していかねければならない。

南 雲 町長



大白倉トンネル貫通式(8.30)

ごみの不法投棄については、所かまわず捨てられ、減少しないのが現状である。「不法投棄監視制度」を創設し、不法投棄の多い重点監視地域を巡回してもらうなど、今後の課題として検討いきたい。

① 環境と公害問題は二点ほどに集約でき、その一が水質汚染である。この主な原因は家庭からの生活雑排水によるものであり、町では平成十三年までに全町に下水道が普及できるように、計画的に事業を実施してきており、この完成によってほぼ解決できるものと考ええる。

二は養豚悪臭である。これは、先の高橋重議員ご質問の答弁のとおりである。三はごみの不法投棄の問題である。今後一層の監視の強化を図り、住民啓発を積極的に進め、監視制度の確立を検討したい。

町都市計画は、昭和六十二年四月に指定を受け、平成四年度末に用途地域決定という協議・調整をしていたところ、四年六月に都市計画法及び建築基準法の一部改正があり、用途地域種類の拡充から変更を余儀なくされ、用途地域決定を五年度末

にしたところである。現在、県の都市計画課と原案の協議をしており、庁内会議、関係機関の協議を経て、町の都市計画審議会で審議。さらには住民説明会をしたうえで計画認定するという段階になる。当初の計画より遅れているものの、施策の停滞とは考えていない。

商業振興対策については、隣接する十日町市の相次ぐ大型ショッピングセンターなどの影響から、地元購買力の流失は避けられない。このような状況の中で商業の活性化を進めるには、事業者のやる気と公共施設の整備などを合わせて、官民一体となった町づくりの展開が必要。

③ 診療所、デイサービスセンター、特別養護老人ホームを拠点に、有効活用や地域住民の福祉増進を進めていく必要がある。町においては、他市町村に先

町の重要施策に停滞はないか

押木 貢 議員

① 環境問題や公害対策、都市計画問題、商業振興対策など、町の重要施策に停滞はないか

② 大白倉トンネル貫通に伴う川西西北部の振興対策について

(1) 当地域をウォッチングビレ

ッジとして活用してはどうか。(2) その拠点として、白倉小学校を後利用したらどうか。(3) 白倉小学校統合に伴う児童の交通安全対策と除雪体制は。

③ 福祉ネットワークづくりとボランティア活動をどう進めるか

① 環境と公害問題は二点ほどに集約でき、その一が水質汚染である。この主な原因は家庭からの生活雑排水によるものであり、町では平成十三年までに全町に下水道が普及できるように、計画的に事業を実施してきており、この完成によってほぼ解決できるものと考ええる。

二は養豚悪臭である。これは、先の高橋重議員ご質問の答弁のとおりである。三はごみの不法投棄の問題である。今後一層の監視の強化を図り、住民啓発を積極的に進め、監視制度の確立を検討したい。

町都市計画は、昭和六十二年四月に指定を受け、平成四年度末に用途地域決定という協議・調整をしていたところ、四年六月に都市計画法及び建築基準法の一部改正があり、用途地域種類の拡充から変更を余儀なくされ、用途地域決定を五年度末

どうなる今後の幼稚園

北村 公男 議員

① 町長三期目の後半に向けて

(1) 養豚公害に対して、町長も先頭に立って対処すべく決意を聞きたい。

(2) 山野田土地区画整理事業に

おいて、計画の変更や見直しを考えていかなければならない。提案として、この事業の地区外に住宅が十戸程度建てられる場所がある。そういう場所を求める場合に、事務的経費、道路などの負担でできないか。

また、町営アパートの増設と旧国鉄アパートの有効利用を進められないか。

① 川西幼稚園閉園においては、地域、保護者、関係者が十分に協議をしたうえで、問題のない閉園を望む。また、跡利用と今後の予定を聞きたい

南 雲 町長

① 養豚家の間において、最近ようやく何とかしなければならぬという気運の芽生えが出てきた。そういう動きを大事にして、誠意を持って解決の方法を探っていききたい。

皆様方にお約束した事柄でもあるので、ぜひ、任期中にメドを着けたいと念願しておる。

(2) 当初計画した区画整理事業において、いろいろの問題が提起され、最終的に検討した結果、約七ヘクタールの事業規模に縮小して、地権者説明会や個人個人の考えなどについてヒアリングを実施。ようやく本年八月にまとめることができた。

このことを踏まえて、今後の取り組みの変更などについては、準備委員会において十分検討が加えられ、最終的な結論が出されるものと期待しておる。

旧国鉄アパートの活用については、現在、J R東日本と協議中である。また、労働省による勤労者住宅の建設という方途もあるのでは、いろいろと接触を重ねる中で、何とか実現させたい。

大塚建設課長 ご提案の新地区における区画整理事業の実施については、区画整理事業としては制約があつて実施できないため、土地開発公社対応による宅地造成事業がよろしいかと思つた。

大平開発課長 宅地の造成は、土地開発公社としては可能である。しかし、今回のご質問の場合に当てはめてみると、個人個人の造成という形になるので、原則的には公社での対応は無理がある。

② 町の幼児教育のあり方について検討を加えてきた中で、本年三月には、地域の保護者を始めとする関係地域住民の方々から幼児教育のあり方や、廃止についての要望もいただいた。

こうしたことから、保護者を始めとする地域の方々との協議を重ねる中で、ごく近い将来の年度末に廃止できるよう措置をしていきたいと思います。

跡利用については、できれば

介護手当の支給制度を

田 口 直 人 議員

児童館や教育相談機能を備えた、青少年センターなどの利用がでないものか。また、地域の皆

様方の有効活用がどのようになら図られるか、いろいろの角度で検討を加えていきたい。

① 「あかね園」閉所後の経常的経費の見直しや「あかね園」ファミリー川西」において、助成金などを加味した町の直接的財政負担はどの程度か。また、これからの福祉計画は

きないか考えておるし、現在、あかね会において研究し、最後の詰めに入っている。

② 寝たきり老人などの在宅介護手当の支給制度を創設しては

今後の福祉計画については、保健医療福祉計画の中で明確にしていきたいと思います。この計画は、本年度末を目標に現在担当課で作成作業を進めておるので、その結果を待ちたい。

③ 外国人の英語教師招へい制度を進められないか

南雲住民課長 財政負担の関係について、あかね会が「あかね園」で直営する長期入所事業と短期保護事業、町が「あかね園」で委託してする介護支援センター事業・ホームヘルプサービス事業、老人デイサービスセンター事業を合算すると、町が四分の一の負担義務が発生するもの約四千万円。ホームヘルプサービス・デイサービス事業で超過負担となるものおよそ一千七百万円ぐらいと想定している。

④ 自然にふれ、山を知り、町の財産をみなで守り育てる気持ちを育むため、町行造林地を一般町民が参加して管理するイベントに取り組めないか

小幡農林課長 山の勉強会、造林地を見て回るイベント、下刈りの一日ボランティアなど、様々なものが考えられるので、何ができるか、どうしたら集まってもらえるか、十分検討させていただきます。

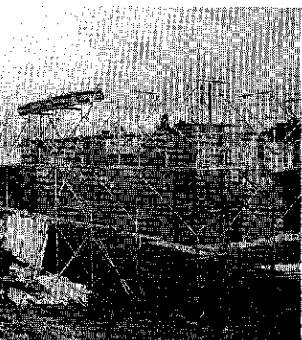
南 雲 町長

① 原則的には、国の措置費基準に基づき、独立採算性を基本にしていただくことは当然のことである。「あかね園」は、法人運営の立場から、当面町費の繰り入れは考えてはいない。

町があかね園に事務委託を行う介護支援センター、ホームヘルプサービス事業、ファミリー川西などの各種事業とのタイアップの中でトータル的に運営で

他市町村では、見舞金又は手当金を支給しているところもあるが、必ずしも現金支給ばかりが介護者に対する福祉ではない。当面は、ホームヘルプサービス事業・デイサービス事業・ショートステイ事業の効率的活用、日常生活用具や介護用品の支給の徹底、家屋の整備資金利子の補給、介護者の慰労制度の充実などを図ってまいりたい。

③ 北村教育長 当町でも、外国人英語教師を招くことができないかどうか、春以来検討を重ねてきた。当面のねらいとしては、交付税措置のある「語学指導等を行う外国青年招致事業」の現に向けて、中心となる川西中学校と相談しながら準備中という状況にある。大変希望が多いので、最大限努力をしたい。



来年4月の開所を目指して工事が進められている特養老人ホーム

敬老の日

八六九人に祝い品を贈る

県は、九月十五日現在の六十歳以上の推計人口をまとめました。それによると、県内のお年寄り

訪問して、直接祝い品をお渡ししました。

半寄りは四十二万六千人（町一

（米寿のお祝いを受けた方を紹介します。敬称略・順不同）

千九百六十七人）で、昨年より

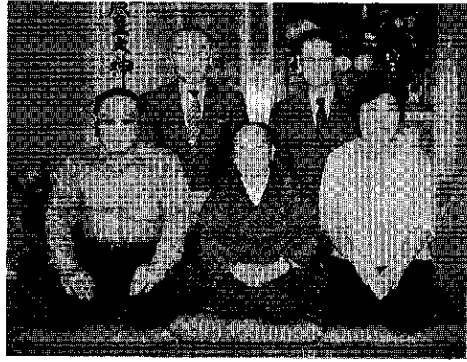
星野ミン（野口）、茂野ソメ（高原田）、保坂ハナ（沖立）、中条増栄（大倉）、根津亥之介（原田）、池竹ヨシ（原田）、平野久蔵（四郎兼）、蔵品清重（高原田）、滋野リヤウ（野口）、片桐桑吉（神社町）、高橋セツ（高倉）、南雲ミサ（中仙田）、黒島松雄（高原田）、高橋カツ（山戸）、増田ヌイ（室島）、丸山春作（上野）、高橋セキ（高倉）、若山ハナ（新町新田）、小海ハル（小根岸）

一万五千人、三・六%増加しました。総人口に占めるお年寄りの割合は一七・二%（町一三・五%）で、昨年より〇・六ポイント増。全国平均に比べても二・七ポイント高く、全国より七年早いペースとなっています。

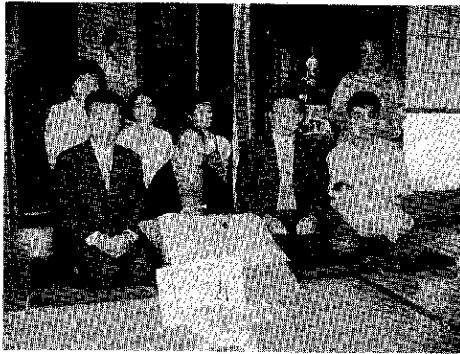
老人週間（九月十五日～三十日）にちなんで、町と県から七十五歳以上八百六十九人に、敬老祝い品が贈られました。

なかでも、八十八歳（米寿）十九人に町長、助役が各世帯を

訪問して、直接祝い品をお渡ししました。



星野ミンさん



茂野ソメさん

川西町長寿者番付

(敬称略)

平成5年9月14日現在

東					西				
氏名	住所	生年月日	年齢	番付	氏名	住所	生年月日	年齢	番付
田村チカ	赤谷	明治29.5.30	97	横綱	平野キイ	上高町	明治29.10.24	96	1
高橋コノ	学校町	29.11.20	96	大関	村山トハ	高原田	30.1.23	96	2
北村クメ	山野田	30.4.10	96	大脇	須藤トハ	田島	32.5.16	94	3
野上ヤス	栄町	32.11.9	93	小結	星市川	木中	33.3.5	93	4
村山シマ	新町新田	33.5.12	93	前頭	丸山夕	東善寺	33.8.13	93	5
長谷川理久	大白倉	33.8.25	93	2	半田源	木島	33.11.20	92	6
登坂サヨ	大岩	33.11.22	92	3	高橋ト	室島	34.2.5	92	7
数藤クラ	沖立	34.3.25	92	4	高橋ト	山島	34.3.29	92	8
数藤寅	沖立	34.4.3	92	5	高橋ト	山島	34.6.5	92	9
高橋トク	坪山	34.10.16	91	6	宮口ト	野田	34.12.18	91	10
高田中	小白倉	35.1.10	91	7	田口ト	木落	35.1.16	91	11
押木福	元町	35.2.25	91	8	高橋ト	坪山	35.3.13	91	12
清水サ	寺尾	35.4.20	91	9	五川ト	学校	35.5.20	91	13
南雲ヤ	田中	35.7.7	91	10	田村ト	鶴吉	35.7.23	91	14
五十川サ	沖立	35.8.21	91	11	高橋ト	坪山	35.9.7	90	15
田口キ	木落	36.1.7	90	12	丸山宗	下原	36.2.26	90	16
富井カ	上野	36.3.1	90	13	春日フ	伊元	36.5.25	90	17
齋木ク	山野	36.5.29	90	14	小林源	町脇	36.10.21	89	18
小海ク	小根岸	36.10.23	89	15	石田コ	脇	36.10.27	89	19

あなたの一言が
社会に生きる

国では、十月十七日～二十三日（新潟県は助役一週間を含む）を「行政相談週間」とし、相談活動の一層の展開を図ることとしています。

行政相談は、国民の行政に対する苦情や意見、要望を受け付けて、その解決や実現の促進を図る制度です。総務庁が所管し、県では行政監察事務所があり、市町村では行政相談委員が設置され、相談に応じています。

例えば、道路・住宅・医療保健・交通安全・環境衛生などについて、◎役所の処理が間違っていると思う◎説明が納得できない◎どこに申し出たらよいかわからない、というようなことに応じるのがこの制度です。

なお、週間に合わせて、次のとおり行政相談が開かれますので、お気軽にお出かけください。
10月18日(月)高齢者コミセン
19日(火)上野コミセン
20日(水)克雪センター
24日(日)総合センター

(時間は、午後一時半～三時までは) 相談委員は、押木良作(田戸)です。

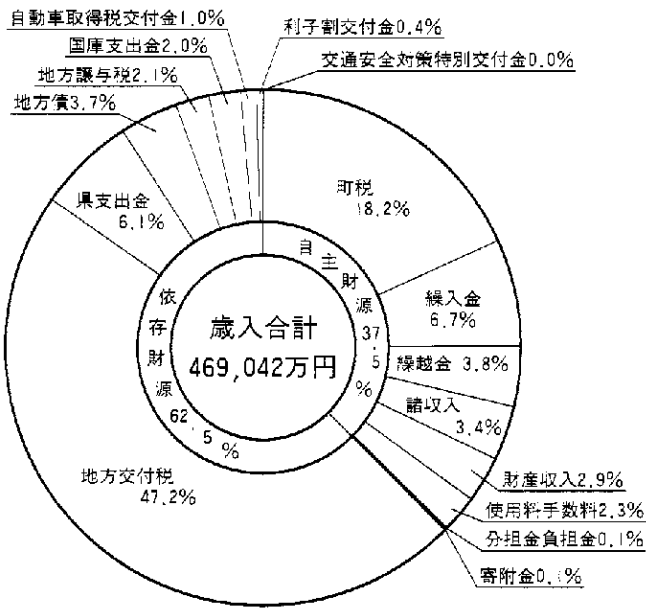
4年度 決算

平成四年度の決算が、九月の議会定例会で認定されました。この決算は、平成四年四月一日から五年三月三十一日までの収支をまとめたものです。一般会計の概要をお知らせします。

歳入は、四十六億九千四十二万円、歳出は四十五億三千七百六十七万円で、三年度決算に比べて、歳入では四・七％、歳出では六・六％増加しました。

歳入は、町税、分担金、負担金、使用料、手数料など、町が自らの手で徴収することのできる「自主財源」と、国県支出金、地方交付税、地方譲与税、地方債のように、国や県から定められた額を交付されたり、割り当てられたりする「依存財源」によって構成されています。

歳入

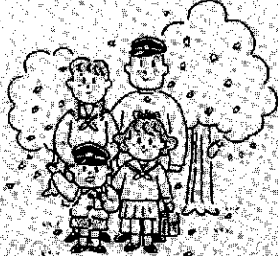


町の歳入構造は、依存財源の割り合いが高く、四年度決算でも六二・五％となつています。これは、三年度と比べて〇・七ポイント減少したものの、財源を依存する体質には、依然として変わりはありません。

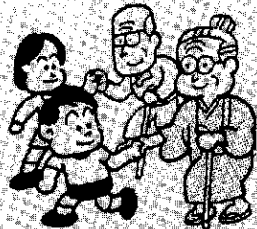
また、行政事務を進めるための経常的な経費のほか、町民の健康調査や各種検診などの充実、高齢者など各種福祉対策への対応、生涯学習への取り組み、農業振興策など、目に見えないところにも、みなさんの大切なお金が使われていることも、見逃せない重要なことです。

総額45億3,767万円はこのように使われました

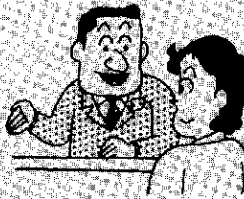
教育費 11.4%
5億1,644万円



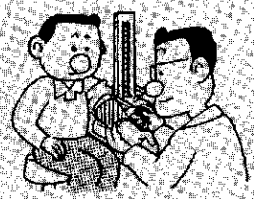
民生費 15.5%
7億387万円



総務費 16.1%
7億3,134万円



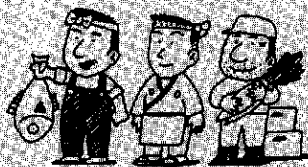
衛生費 19.8%
8億9,733万円



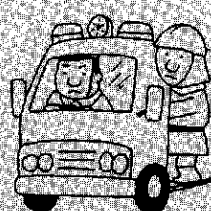
議会費 1.7%
7,726万円



商工費 2.3%
1億212万円



消防費 3.3%
1億4,908万円



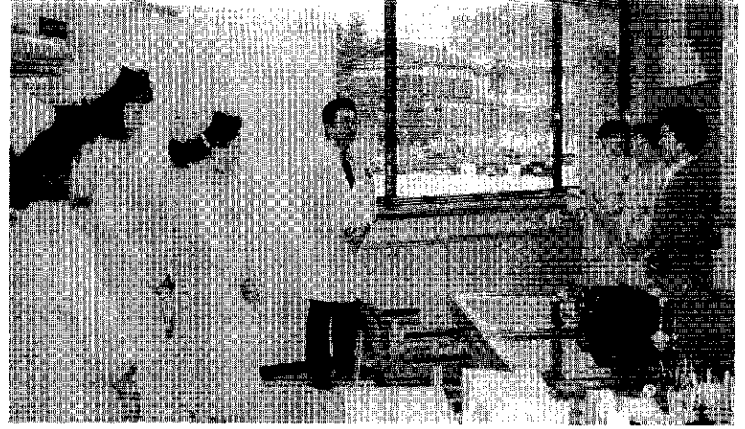
農林水産業費 8.7%
3億9,372万円



特別会計決算

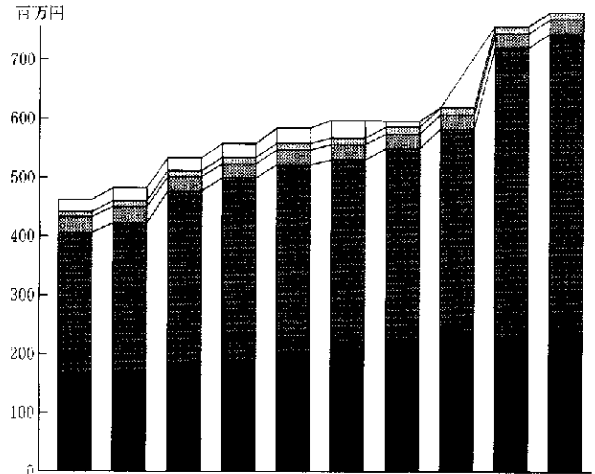
国民健康保険	歳入	5億5,719万3千円
	歳出	5億2,543万1千円
国民健康保険診療所	歳入	1億4,453万2千円
	歳出	1億4,390万2千円
仙田へき地出張診療所	歳入	2,626万9千円
	歳出	2,626万9千円
老人保健	歳入	7億2,313万5千円
	歳出	7億 346万6千円
地域休養施設	歳入	1億3,836万2千円
	歳出	1億3,649万9千円
簡易水道事業	歳入	7,546万4千円
	歳出	7,512万4千円
農村集落排水事業	歳入	5億3,763万5千円
	歳出	5億3,749万1千円
下水道事業	歳入	7,889万3千円
	歳出	7,847万9千円

新診療所オープン当日、職員も気を引きしめて(5・16)



過去10か年の町税収入の推移

町民税 固定資産税 たばこ税 軽自動車税 その他

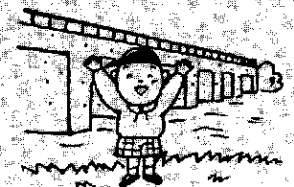
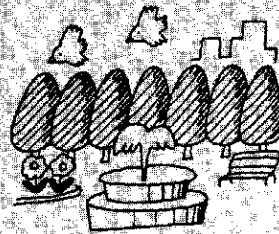


項目	年度	58	59	60	61	62	63	元	2	3	4
町民税		161	162	175	186	201	210	221	232	223	236
固定資産税		245	260	302	313	321	320	329	351	498	509
たばこ税		27	28	24	24	25	26	24	24	24	24
軽自動車税		8	10	10	11	11	11	12	12	12	12
その他		21	22	22	23	26	30	10	0	2	0

目的別歳出の内訳

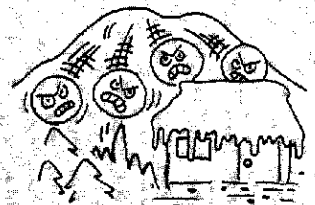
公債費 10.0%
4億5,384万円

土木費 10.7%
4億9,660万円



労働費 0.2%
1,123万円

災害復旧費 0.3%
1,534万円



木落クリーンセンター通水式

(4・8・21)



町の話題あれこれ



各町内で繰り出されたみこしが、あちらこちらで舞っていました

千手神社祭りでみこしが練り歩く

九月四～五日と、千手神社祭りが実施され、住民は花火やみこしなどを楽しみました。

千手神社は、明治四十年に山野田、東善寺、上新井、水口沢中屋敷の神社が統合されてできたもの。また、昭和三十四年に高原田の十一社と鶴吉の伊須流支社を、同四十三年に沖立神社を合祀しており、千手地域のほぼ全町内が関係しています。

祭りのメインは何と云っても両日に繰り広げられる子供・大人のみこしです。町内会で工夫された数々のみこしが、通りを練り歩きました。

小白倉秋祭りもみじ引きでにぎわう

九月四～五日に小白倉で秋祭りが実施され、五日には恒例の「もみじ引き」の行事でにぎわいました。

この行事は、大正初年ごろから始められたもので、祭りの花として鎮守にあげた、根元の直径は四十センチもあるかと思われ、もみじの木を、祭りが終わつたあとにおろして地域内を引き回ります。また、汚れたもみじを清めるといって、水をかけあうことでも知られています。

この日も、新築・結婚などのめでたいことがあつた家を訪れて酒の振る舞いを受け、行事は夕方まで続けられていました。



祭りのメインイベント、もみじの大木を総出で引き回ります

建立八十年を大演芸会で祝う

九月三～四日と取安神社祭りが実施され、三日の宵祭りは、多くの人が神社の参拝に訪れました。取安神社は、大正元年、原田の熊野社と根深の諏訪神社を合併してできたものです。

この日は、台風十二号が九州に上陸し、その被害も報道され、今にも泣き出しそうな空を眺め、また、時折りあたる雨を気にしながらの開催となりました。しかし、今年には、神社建立八十周年に当たるといふことで、お祝いに大演芸会を開催。カラオケ、踊り・民謡・詩吟・太正琴など、多彩な催しを披露して、集まった人々を喜ばせ、大変な盛り上がりを見せていました。



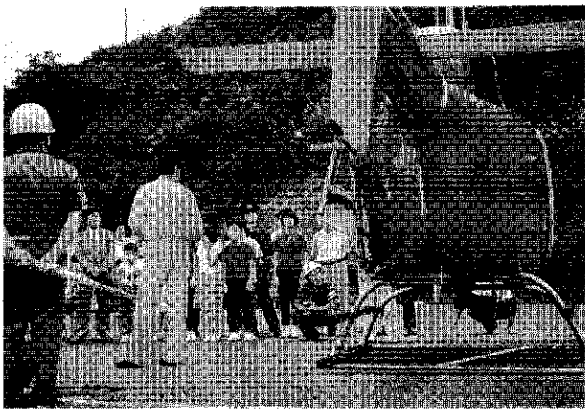
入り口ではお神酒も振る舞われ、参道には夜店も多く立ち並んでいました

空から交通安全を呼びかける

九月十日、町・安協仙田支部では、白倉運動場と仙田小学校グラウンドに、県警ヘリコプター「こしかぜ号」を呼んで、空からの交通安全を呼びかけました。

「こしかぜ号」は、まず白倉運動場に到着し、白倉小学校（木村孝太郎校長・児童六人）児童や地域住民の歓迎を受け、空から交通安全を訴えながら仙田小学校グラウンドに着陸。ここでも、仙田小学校（大島紘一校長・児童四十八人）児童や仙田保育園児、地域住民の熱い歓迎を受けました。

両会場では、児童による花束贈呈、講話、ヘリコプターの見学をしたあと、児童による交通安全への決意が述べられました。

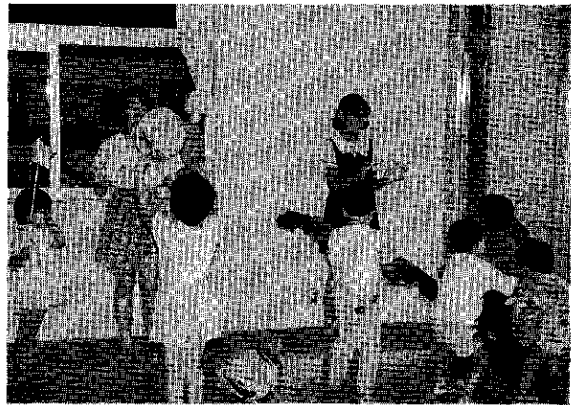


機長さんが「道路には飛び出さないように」と講話の中で話していました

ボランティアで地域活動に参加

町公民館では、六月から青少年のボランティア活動(今年度は身体障害者体育大会、老人クラブの運動会、少年野球大会、保育の四つ)への参加を進めていました。この活動に、川西中学校生徒四十八人(男子十九人・女子二十九人)の申し込みがあり、六月二十日の身体障害者体育大会を皮切りに、各種大会の用具係や会場準備・片付け、幼児の世話・遊びなどボランティア活動を続けており、関係者から喜ばれています。

明るい町、明るい家庭をつくることはみんなの願いです。ちょっとした思いやりや自分のできることを、できる範囲でお手伝いしてみませんか。



最初はお互いにとまどいがありました。しかし、すぐに慣れて遊びの中へ溶け込んでいきました

はつらつプレーちびっ子球児



Aブロック第1試合、上野対千手タイガース
千手タイガースの追加点となって喜びの選手

九月十一日、庚塚運動場と橘運動場で、第二十三回町少年野球大会が開かれました。この大会には、Aブロック四チーム、Bブロック二チームが参加。庚塚運動場で合同の開会式が行われ、北村教育長のあいさつのもと、丸山一樹君(上野小六年)が力強く選手宣誓。それぞれのブロックに分かれて総当たり戦を展開しました。

Aブロックでは橘ドラゴンズ(橘小)が、Bブロックでは橘ホワイトサンダース(橘小)が優勝。Aブロック優勝チームには優勝旗・優勝カップ・優勝メダルが、Bブロック優勝チームには優勝盾と優勝メダルがそれぞれ手渡されました。

びびっ子館の里

九月十二日、川西中学校グラウンドで、同校(普井徹郎校長・生徒数三百四十六人)の体育祭が開かれました。今年は一輝け青春百%完全燃焼」がメインテーマです。

全校生徒選手団の入場行進に始まり、赤・青・緑組に組み分けされた生徒が、青空の下で、学年ごとに実施する種目や全校生徒でバトンをリレーする全員リレーなど、各種目にエネルギーを爆発していました。

中でも女子は綱引き、男子は騎馬戦が伝統的な種目となっており、伝統にふさわしい総力を挙げた熱戦を展開していました。

青空の下で あふれる若さを爆発



二年生による学年種目。三人四脚レースの一幕

九月十四日、南原保育園(園児三十一人)では、おじいちゃん・おばあちゃんを招いて「縁日ごっこ」を開催しました。

運動場には、「ピーヒャラ、ドンドン」と祭りの笛や太鼓の音が鳴り響き、わたあめ屋さん、ふうせん屋さん、水ヨーヨー屋さんの店が並び、店の前には長い行列ができていました。また、保母さんも祭り半日をまとい、まさに園は祭り一色になっていました。

お年寄りを招き 「縁日ごっこ」で楽しむ

祭り気分を味わったあと、お年寄りとお園児は、遊戯室の一室をお化け屋敷に仕立て、お化け屋敷探検ゲームも楽しみました。



「わたあめいかがですかー」「一つくださいな」

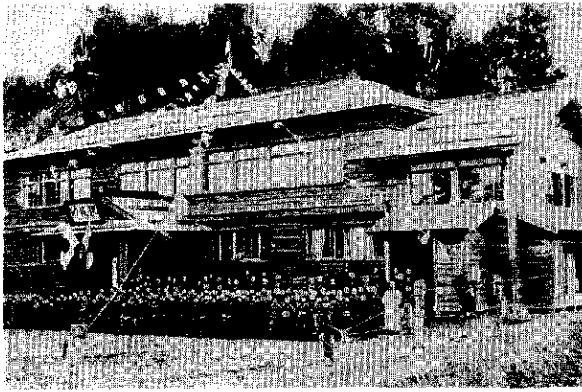
仙田村の学校問題 ⑮

岩瀬 金子 幸 作

県視学が火を付ける

うわべは平穩であるかに見えた仙田村で、学校問題がまた火を吹いたのは昭和十一年の秋であつた。白倉校を巡視した内田

県視学が、昼食にソウメンと鯨汁でもてなされたことに氣を良くしたのか、「白倉にも高等科を置くべきだナ、中仙田校までは遠い」と発言して同席の有志が小躍りしたのである。校区民がすっかりその氣になり、いつも



しゅん工を喜ぶ白倉小

敵対視する赤岩校区には内緒で室島に飛び、この話を仙田校区に持ちかけて同意を得、ときの増田準次村長に両校区が高等科の設置を強く迫つた。

ば声を浴びて

室島出身の増田村長は、両校区の言い分を聞いてそのとおりだと思ひ、白倉校と仙田校に高等科を置くために村会協議会を開く段取りをつけた。ところが、これを察知した赤岩校区民が怒り出し、「白倉と室島に高等科を置くというのなら赤岩校にも置いてくれ」と要望したが、増田村長はこれを拒否した。

こうなると赤岩校区民はますます激昂し、役場へ波状的に押しかけて村長にば声を浴びせる毎日が続き、やむを得ないと判断した増田村長は「赤岩校にも高等科を置く」と約束した。昭和十二年四月十三日のことであつたが、増田村長は赤岩校区の要望も受け入れたことで仙田・中仙田・白倉校区から「信念がない」と強くなじられ、南雲俊平助役が辞意を表明していたこ

ともあつてハラを固め、この日の夕方辞表を提出した。

村長さんが泣いた

このころの緊迫した有様を、役場に勤めていた小林政夫氏が次のように回想する。

増田準次村長は顔に陰のある紳士で、オツカナイ氣づかいの人だと思つたら、容姿に似合はず穏やかな人格者だつた。東京帝国大学を出た学者肌の教育者で、直接ガミガミ言うような人でなかつた。増田総本家の隠宅の主人で、尊敬されていた。

村会があつてもめた日の夜、みんなが帰つて静かになつた役場の事務室で、増田村長と南雲助役が手をとって合つて無念の涙を流していた。オレはまだ駆け出しの少年だつたが、仙田村で一番エライ村長様が泣くのはたゞごとではない事態だと思ひ、オヤゲナクテ切なかつた。その日は役場の裏山や宮倉の畑に赤谷・岩瀬・大倉のトツツアたちが押しかけ、殺氣立つて手ぬぐいの中に小石を入れて傍聴し、討論のさ中にイツツオケの悪口雑言を浴びせて議員を野次り、夜遅くまで豪儀もめた日だつた。

松永職務管掌来る

村長と助役が辞職し、その後をまたも引き受け手がなくて、

収入役の半田利一郎が急ぎ県庁へ飛び、この経緯を報告して指示を仰いだ。その結果、昭和十二年五月三日の午後二時三十分に至り、県地方課属の松永敬三郎(新潟市鳥屋野)が仙田村長職務管掌に任命されて直ちに着任することになった。松永敬三郎が着任した時の模様を、小林政夫は次のように語る。

県庁からバリバリの役人が村長になつて来るといふので、全職員が役場の前に並んで出迎えた。田戸の方からソジ(小林曾治)のタクシーが来、国民服を着た小柄な男が役場の前の坂で自動車を降り、まず掲示板を目をとおし、黒い皮のカバンを抱えて役場に入った。開口一番、「オイ、給仕、お茶ッ」と言われてビックリ仰天した。「給仕」と呼ばれたのは生まれて初めてのことだつたからである。村長の広い机の隅に呼出し用の鐘を置き、その小さな鐘をチン、チンと鳴らしてオレを呼び、なにかと用を言い付けた。

しごかれた職員

役場職員への注文は厳しく、「余は職務管掌なり」と言わんばかりに斜に構える人で、「オイ、〇〇君、これじやダメだ、契印の押し方が間違つてゐる、ハンコはこう押印するものだ、この

伺い書はなつていない、公用文の作成要領を知らんのか、言葉遣いに氣をつける、もつと勉強したまえ」などとクダクダ言うわりには優しい声で弁説もさわやかな人だつた。強度の近眼で、村長の椅子にそり返つて眼鏡を拭くクセがあつた。

やや小肥りの人で、三十五才の身体を大きく見せるためか、退庁時には黒いカバンを振り振り下宿先の薬師旅館へ帰つた。

青年学校に普通科

松永は厳しいだけにやり手の人で、一カ月以内に学校問題の解決案を示したいと各集落をかきまわり、校区ごとに意欲的な折衝を続けた。そのさいに、高等科を置かない学校には青年学校の普通科を置き、高等科の学習内容と同等の学力を身につけさせると訴えた。しかし、村民の間では青年学校よりも高等科のほうが世間に受けが良く、同等の学力とは言つても青年学校の普通科では子弟の就職や将来に影響するからと良い顔をしなかつた。思案した松永は「県学務課と協議してだれもが納得できる解決案を作成し、六月初めまでにこれを村民に提示して意見を聞き、結果をよく検討し、六月定例総会で協議して解決をはかる」と言明した。



5年男子1,500メートル決勝



5年女子80メートルハードル予選

第24回町内小学校 親善陸上大会 結果

9月22日、十日町市陸上競技場で、町内の小学校(5~6年)親善陸上大会が開かれました。当日は、1種目に大会新記録が生まれました。(*=大会新)

【男子】

5年100メートル

- ①丸山喜之(橋) ②滋野良治(同) ③柳直也(千手)
6年同

- ①小林貴志(千手) ②蔵品哲也(同) ③高橋和也(同)

5年80メートルハードル

- ①星名太一(橋) ②小林哲也(上野) ③須藤雄一(橋)
6年同

- ①小林貴志(千手) ②大海真彦(同) ③高橋和也(同)

5年1500メートル

- ①大久保峻(橋) ②岩坂英二(同) ③渡辺学(上野)
6年同

- *①丸山健士(橋) ②藤原弘生(同) ③松崎正(千手)
5年走り幅とび

- ①星名太一(橋) ②押木拓己(上野) ③内山裕貴(同)
6年同

- ①大海真彦(千手) ②蔵品哲也(同) ③丸山英明(同)
5年走り高とび

- ①高橋拓也(橋) ②高橋克幸(千手) ③渡辺学(上野)
6年同

- ①丸山健士(橋) ②藤原弘生(同) ③吉楽拓哉(千手)
5年400メートルリレー

- ①橋(星名太一、滋野良昭、大久保峻、丸山喜之)

- ②上野(若山博彰、渡貫正嗣、小林哲也、渡辺学)

- ③仙田(樋口和也、登坂匠、樋口亮、庭野哲)

6年同

- ①千手A(高橋和也、蔵品哲也、大海真彦、小林貴志)

- ②千手B(丸山英明、鈴木健、田中邦宜、松崎正)

- ③橋(片桐良弘、水落信行、藤原弘生、丸山健士)

【女子】

5年100メートル

- ①久保田美穂(千手) ②五十川亜紀(同) ③小林直美(同)
6年同

- ①池竹祐子(橋) ②渡辺景子(上野) ③田中恵梨香(白倉)

5年80メートルハードル

- ①金子司(上野) ②水落まどか(同) ③根津迪子(同)
6年同

- ①清水孝子(千手) ②桐生かおり(上野) ③丸山理絵(橋)

5年800メートル

- ①今井佳奈子(上野) ②金子歩美(同) ③小川千春(同)
6年同

- ①野沢佳代(橋) ②水品早絵(上野) ③桐生かおり(同)
5年走り幅とび

- ①高橋恵(仙田) ②木村梨恵(橋) ③山田夏菜子(上野)
6年同

- ①渡辺景子(上野) ②池竹祐子(橋) ③田中恵梨香(白倉)
5年走り高とび

- ①今井佳奈子(上野) ②五十嵐絵理子(橋) ③根津迪子(上野)
6年同

- ①田中美奈子(橋) ②清水孝子(千手) ③小野塚美紀(橋)
5年400メートルリレー

- ①上野A(今井佳奈子、水落まどか、根津迪子、金子歩美)

- ②千手(高橋あすか、小林直美、五十川亜紀、久保田美穂)

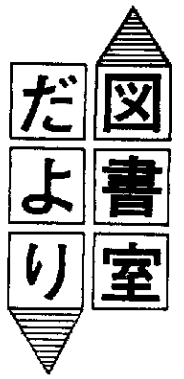
- ③上野B(小川千春、柄沢香寿美、金子司、山田夏菜子)

6年同

- ①上野A(桐生かおり、若山祐子、高橋理恵、渡辺景子)

- ②橋(田中美奈子、野沢佳代、戸田万里子、池竹祐子)

- ③千手(小野塚美紀、清水孝子、高橋史子、尾身麻美)



最新刊図書の紹介

○にぎやかな大地 山下惣一
著者は農業に従事しながら執筆活動を続けており、農民文学賞を受賞している。

ゴルフ場誘致問題をめぐって村はまっぴらつに分かれて争う。農業人口の減少と高齢化。日本の農業の将来はどうなるのか。現実の農業の状況をふまえての描写は迫力がある。

○日本改造計画 小沢一郎
細川内閣誕生の陰の仕掛人とされている著者の日本再生ビジョンが描かれている。PKO(国連平和維持活動)と憲法九

条との関係でも、「日本が指揮権を持たず、国連にゆだねていれば問題はない」と明快だ。

小選挙区制度や、大幅な地方分権制度の導入など、思い切った政策を訴えている。

○生きるヒント 五木寛之

仕事にゆきづまって悩んだりふっと落ちこんでしまったりしたときに、この本に出会うと、心が元気づけられ、救われたような気持ちになれる本である。

○仮面の家 横川和夫

新潟日報に連載され、このほど日本新聞協会賞を受賞した追跡ルポの集大成である。

浦和の高校教師とその妻が、家庭内暴力の長男を刺殺した。立派な教師であり、健全とみられる家族に潜む、現代の家庭の悲劇を克明に追跡したルポルタージュである。

善 意

学校給食に
仕込みみそ 230 kg (町内・匿名希望)

消防広場を開催

■とき 10月17日(日)

午前10時～午後3時

(雨天の場合は24日(日))

■ところ 中里村総合センター駐車場

○体験コーナー(ちびっ子レスキュー体験・濃煙体験はしご車試乗体験)○ミニ消防車運転○消火訓練○住宅防火コーナー○紙芝居○わたあめコーナーなど



かわにし 俳壇

太田白南風選

山頂や秋天高く風渡る

志木市 山田十久二

早堀りの芋を奢りの生活かな

赤谷 登坂 酔月

コスモスの壺に活け替えおさまりし

上野 星名 春子

栗めしを敬老の日の祝い膳

原田 大平 きみ

鉢の菊葉を大切に脇芽かく

高倉 斎木 和人

さぎ草の花夕暮れに咲き初めり

綾瀬市 野沢ますえ

白萩の離村の跡に淋しけり

大倉 中条 石平

待きて眩しいばかり彼岸花

伊勢原市 金子 桂吉

山合いの水澄む池の浮葉かな

上野 渡辺 朝

草むらに赤い糸引き水引草

小白倉 江口みゆき

豊かなるススキの穂波調整池

浦和市 登坂 博史

萩の花こぼる、参道彼岸入り

仁田 小幡しん女

虫すだく一人文書く秋夜長

千手 長野 キミ

女郎花活けし床の間楚々として

山野田 藤田ひろ志

爽やかに御詠歌揃ふ御堂かな

寺尾 白井すみい

少年の手に遊ばせている蝶

霜条 星名 星光

空鷹鳴かぬいとども淋しけれ

上町 高橋 願似

信濃路の車窓に望む蕎麦の花

岩瀬 登坂伊智子

さわやかな風におどれるのこずち

霜条 大海 白涛

二度三度ヤマの目玉露天風呂

上野 内山 寛平

上向きし芋葉に光る露の玉

新町 若山 向山

葦山の温くみに遊ぶ赤トンボ

野口 野沢 静江

梅を干す竹まだ青き大笹に

元町 金子 鉄平

竜胆の咲く土手道を犬散歩

八王子市 松浦 サク

秋の日に早起き座禪お粥かな

厚木市 川崎 保一

月光にほのかにかうかき蕎麦の花

練馬区 須藤 遊人

夏葱の辛みの増し秋深む

上野 入沢 はや

じんじんと傷口痛む秋の雨

野口 村越 由喜

来客の持ち来し白や胡蝶らん

野口 五十嵐トラ

古里は瑞穂の国や秋高し

足立区 駒形 頼太

稲架乾く香り豊けき里に住む

小白倉 田中 優美

日の暮れの鳴子鳴りを風つよし

足立区 涌井ハル子

秋日行く手押車の老婆かな

元町 上村 トミ

長雨に堪えて稲穂のようやく黄

仁田 戸田 貞

秋の日をおりおり仰ぎ稲を刈る

野口 村越 幸

外に出て風やや強き栗ひろい

仙田小三年 高橋 隼

亡き父に一度見せたい大相撲

野口 村越 春野

かくしやくとぼつか歩める草紅葉

中仙田 高野仙蒼子

せ、らぎの音冷やかに秋深む

木落 丸山 詩朗

国際自動即時の公衆電話

—NTT十日町支店が役場前に設置—

NTT十日町支店(神南俊夫支店長)では、九月二十一日、川西町役場前の公衆電話ボックスに「国際自動即時公衆電話」を設置しました。これは、国際

社会に対応して、お客様へのサービスを充実させようというもので、平成四年度に一台、今年度は十日町市役所前に続き四台目の設置となります。

この公衆電話は、国際ダイヤル通話ができるだけでなく、ノートパソコンや電子手帳でデータ通話が可能であり、大型ディスプレイ表示でテレホンカードが二枚入る最新式です。NTTでは、今後とも公衆電話サービスの改善に努めていきたいとのこと。

あんぼ



- | | |
|-----------------|-----------|
| ■ 材料 | ■ 調味料 |
| ・米粉（うるち5合、もち5合） | 〈野菜漬け〉 |
| ・大根の葉 5～6株 | ・野菜漬け 2K |
| （中に入れる具） | ・醤油 大きじ3 |
| ・野菜漬け ・あんこ | ・みりん 大きじ3 |
| （あんこ） | ・砂糖 大きじ3 |
| ・小豆 3C | ・酒 大きじ2 |
| ・砂糖 600g | ・油 大きじ7 |
| ・塩 小さじ1/2 | ・化学調味料適宜 |

調理方法

- ①大根の葉はゆでて細かく刻み固くしぼり、米粉と良くまぜ合せ、お湯を加えながら、耳たぶの固さに良くこねる。
- ②野菜漬けは細かく刻み、しっかりしぼり、油で炒め、上記の調味料でやや濃めに味をつけて、汁がなくなるまで炒める。
- ③小豆は一晩水につけ、火にかけて煮立ったら水をかえる。これを2～3回くり返して、やわらかく水がなくなるまで煮てつぶし、上記の調味料を加えて、弱火で25分位良く練り、冷めたら3cm位のボール状に丸めておく。
- ④①の皮に②の具をたっぷり包み込むようにして丸める。③も同じようにして丸める。
- ⑤蒸し器に④を重ねないように並べ20分位蒸す。食べる時に炭火かオーブントースターなどで焼く。

手軽にできるふるさと味の②

休日救急医

10月10日	第二藤巻医院（上野）	☎ 68-2018
11日	山口医院（袋町）	☎ 52-2174
17日	中条病院（中条）	☎ 57-3018
24日	富田医院（神明町）	☎ 52-3269
31日	池田医院（本町西）	☎ 52-2581
11月3日	庭野医院（寿町）	☎ 52-2711
7日	クリニック西（高原田）	☎ 68-2034
14日	大坪医院（四日町）	☎ 57-6100

週休土曜日を 勤労奉仕

去年九月から学校週5日制が実施され、学校・家庭・地域においても、いろいろな取り組みがされているところです。

川西中学校生徒会（星名力成生徒会長）では、週休の土曜日を勤労奉仕など地域活動に参加しようということから、赤谷地区では、生徒が神社境内の清掃を実施しています。九月十一日も、朝八時ごろから生徒が境内



の落ち葉などをはき集めています。

このようは活動があちこちで実施されています

成人病予備軍の子供たち

成人病予備軍は小児期から

成人病は習慣病ともいわれ、見直すことが一番重要です。特小児期からの悪い生活習慣の積み重ねの結果によるものといわれています。ここ十年、肥満や菓子類・嗜好飲料の取り過ぎでコレステロール値の高い子供が増えています。そして野菜類、果物類の取り方が少ないことです。肉類を増えて問題となり、いろいろと研究がされています。その背景には欧米化した食生活や、体を使った遊びの不足、夜型の生活習慣などの要因があげられます。

小児期で特に問題となるのは、小児肥満、高脂血症、動脈硬化です。肥満は二十年前と比べると二・三倍に増えていますが、高脂血症は十歳代の若年層での増加が目立っています。動脈硬化は、十歳ころまでに多くの者に初期の病変が見られているそうです。では、どう予防したいのでしょうか。やはり、食生活を

見直すことが一番重要です。特小児期からの悪い生活習慣の積み重ねの結果によるものといわれています。ここ十年、肥満や菓子類・嗜好飲料の取り過ぎでコレステロール値の高い子供が増えています。そして野菜類、果物類の取り方が少ないことです。肉類を増えて問題となり、いろいろと研究がされています。その背景には欧米化した食生活や、体を使った遊びの不足、夜型の生活習慣などの要因があげられます。

食習慣や嗜好は、離乳期のころからすでにできています。子供が喜ぶからと、好きなものばかり与えることは問題です。食べ物に在り余っている現在、大人が食べ物を選択して与える必要があります。食事のときは親子一緒に食べて、お子さんの食べ方に気をつけると同時に、家族みんなで食べる楽しさも味わわせてください。

このままだと、今の子供たちが老人になるころには、六十歳～七十歳までしか生きられないという研究者もいます。今からお子さんの成人病予防を始めましょう。



戸籍の窓から

うぶ声—おすこやかに

茂野 大貴 宏規 長男 高原田 美世子

高橋 昂希 昭一 長男 上野 寿美子

渡辺 一正 正彦 長男 鶴吉 智子

小山えりな 悟 長女 木落 ゆかり

たかさご—ご円満に

(蔵品 祐紀 栄町 園屋 里美 静岡県から)

昇天—ごめい福を祈る

小海ユキエ 52 (英吉) 霜条 片桐 實 69 (勝巳) 小白倉 齋木 甚平 70 (本人) 山野田 江口 恵 71 (本人) 小白倉 清水 キイ 73 (克治) 上野 齋木 ヤス 80 (定夫) 小脇 小林 正治 80 (文夫) 中仙田 山田マツヨ 86 (春茂) 仁田 (9月1日〜30日届け出分)

コート内に横断歩道?

九月十七日、庚塚運動広場で、郡市高齢者交通安全ゲートボール大会が開催されました。この大会は、ゲートボールを通じて、高齢者の交通安全を図ろうと、郡市交通安全対策協議会(十日町市・津南町・川西町・中里村・十日町地区交通安全協会で構成)が主催したもので、今年で十二回目となります。

郡市の市町村から、計十六チームが参加。コート内には横断歩道が一か所設けられ、ゲートボールの得点から横断歩道の渡り方を減点するという形で行われました。

ちなみに、今回は当町の赤谷睦会が優勝を手にしました。



左右確認、しっかり手を上げて

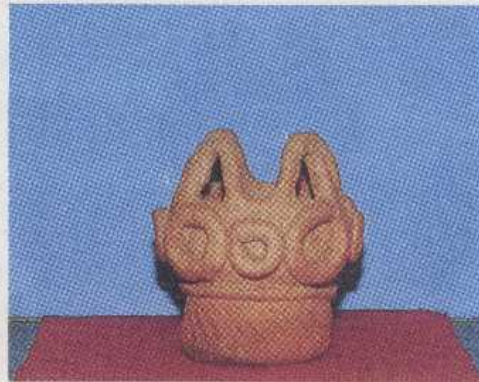
ちいさな展覧会



5年 高橋 愛さん



1年 のざわこういち君



6年 丸山健士君



2年 しみずゆずる君



4年 羽鳥 渉君



3年 山口政志君

(11月号は仙田小学校です)